

■ 自転車は好き？

vous aimez Le VéLO?

— フランスと自転車 —

ツールを知る、 フランスを知る

- 期待のカウントダウンは、コース発表の瞬間から！
- 初心者必見！まずは押さえるジャージ知識
- レースよりも人気!?「キャラバン隊」 "LA CARAVANE"
- おまけ ツール・ド・フランスFAQ

意外と知らない？ フランス自転車事情

- 次世代レンタサイクル！ Vélib' (ヴェリブ)
- 運動、会話、充電が同時に!? "We Bike"
- 各地で開催、「自転車祭」って？

「弘前×フランス」プロジェクト：まちをキャンパスに！

TOUR de FRANCE

ツールを知る、フランスを知る

TOUR DE FRANCE (ツール・ド・フランス) は、1903年に始まった世界で最も人気のある自転車レースである。毎年7月の3週間、フランスの小さな田舎道も山道も、詰めかけた群衆の声援で埋めつくされる。

期待のカウントダウンは、 コース発表の瞬間から！

フランス一周という名のレースだが、周辺国が舞台になることもあり、ステージ数は1993年以降、「プロlogue」を含めて全21ステージで定着。おなじみのシャンゼリゼのゴールは、1975年にはじまった。ツールのコースは、全長3500km、標高差2000mにもおよぶ。比較的勾配が緩い平坦なステージと、山登りと下りがメインになる山岳ステージの2つに分けられる。

毎年変わるツール・ド・フランスのコース。
10月下旬のコース発表と同時に、翌年レースへの期待のカウントダウンがはじまる。

初心者必見！ まずは押さえるジャージ知識！

TOUR でよく見かけるカラフルなジャージ。ここではジャージが表す色の意味を紹介しよう。



👕 個人総合成績1位(黄色)マイヨ・ジョーヌ

総合順位のリーダーが着用する栄光のジャージ。黄色はツール・ド・フランスを象徴するイメージカラーにもなっている。なぜ黄色かなのかについては諸説あるが、レース主催者であるスポーツ新聞「ロト」(現在のレキップ)の紙面が黄色だったからとか。

👕 ポイント賞(緑)マイヨ・ヴェール

各ステージの上位組に与えられるポイントの総数が一番多い人に与えられる。各ステージで常に上位にいないといけないうので総合とはまた違う難しさを持っている。「緑」の由来は当時のスポンサーであった園芸用品メーカー「ベル・ジャルディニエール」の芝刈り機だと言われている。1968年、スポンサーの意向で一度だけ赤色になったことがあるという。

👕 山岳賞(赤の水玉)マイヨ・ポワ・ルージュ

山岳賞争いでは、予め設定された坂や山岳の頂上の上位通過者にポイントが与えられる。気になる色の由来は、これも当時スポンサーであった製菓会社「ショコラ・ブーラン」の人気商品のキャンディーパッケージから。

👕 25歳以下の新人賞(白)マイヨ・ブラン

25歳以下の最もタイムが速いか、失ったタイムが少ない人に与えられる。この色の由来も諸説あるが、若い選手がその白いジャージに将来の栄光を書き入れるためだと言われている。

以上の四つの色のほかにマイヨ・アルカンシエルという色のジャージがある。アルカンシエルは虹という意味で緑、黄、黒、赤、青のラインがデザインされたジャージである。その年の世界選手権の優勝者だけが着用を許されている。

とても綺麗な色のこのジャージだが、実は不吉な都市伝説がある。自転車界では「アルカンシエルを与えられた選手は災難に遭う」と言われている。歴代の優勝者を見ても成績が落ちたり、病気に苦しんだりした選手がいた。アルカンシエルは人を選ぶのか、その真意は不明だがそんなことにも注目して見ると面白い。



おまけ TOUR de FRANCE FAQ

Q レース中の食事は？

A 選手の消費カロリーは一日なんと2万キロカロリー。レース中も食事は欠かせない。彼らはチョコレートや補給食など高カロリーな食べ物をすきを見て摂取しているそうだ。

Q 有力な日本人選手はいるの？

A 敢闘賞で表彰された日本人選手は別府史之と新城幸也の2人で、これからも彼らの活躍が注目されている！

Q トイレはどうしているの？

A 一日のレースが長時間に及ぶことは多々あり、トイレに行きたくするのは仕方ないことである。レースのペースが遅い時に、木陰や民家で用を足すことが普通のようなのだ。

レースよりも人気!?「キャラバン隊」 LA CARAVANE

前ねぶたを思わせるこれらの写真は、キャラバン隊に参加した企業それぞれのパレードカーである。キャラバン隊とは、TOUR DE FRANCE に協賛している企業が、レース前にコース上を華やかな改造車の隊列で行進し、スポンサーグッズをバラまいていくイベントである。カラフルでにぎやか、フェスティバルの雰囲気があたり一面を覆う。レースよりもキャラバン隊目当てに来る観客も多いと言うから、グッズ争奪戦で盛り上がることも間違いなしだ。

始まりは 1930 年。力をつけすぎた自転車メーカーとの対立による協賛金不足から、企業に協賛を募り、企業 PR を兼ねた行進を行ってもらったのが起源という。現在では沢山の企業が参加し、その隊列は全長約 20km、パレードカーも 200 台以上、配布商品は 1600 万個を超える。いつの日か、現地でのキャラバン隊の盛り上がりを経験したいものだ。

- 1 フランスのシロップのトップメーカー ^{テセール} Teisseire
- 2 フランス産ミネラルウォーター Vittel (ツール公式飲料)
- 3 日本でもお馴染み筆記用具会社 BIC
- 4 フランス銀行 LCL (マイヨ・ジョーヌの現在のスポンサー)



意外と知らない?フランス自転車事情

Vélib'

次世代レンタサイクル!

フランスでは、渋滞による公害の解決策として 2007 年、大規模なセルフサービス型レンタサイクルシステム Vélib' が生み出された。vélo (自転車) と libre (自由な) を組み合わせた造語で、登録さえ行えば各駐輪場にある指定の自転車を、低価格で利用できる。一年で登録者は計を取って、登録者は約 3 千万人に上り、CO2 削減や公害問題解決に大きな効果が期待される。正に、これからの地球環境を見据えた次世代のレンタサイクルシステムなのだ。しかし、いざ目的地に着くと、駐輪場が満杯で別の場所までいかなければならない...ということもあるようだ。

Fête du vélo

各地で開催、「自転車祭」って?

前述したように、Vélib' がフランスで普及したことにより、交通安全への熱も高まってきた。そこで近年、各地で行われているのが Fête du vélo 「自転車祭」である。数千~数万の参加者が集い、自転車の整備からカスタマイズ、子供への安全指導、参加者とのサイクリングなどを行っている。要するに、大規模自転車安全教室と言うわけだが、より良い自転車安全対策を求めるデモも兼ねているようだ。車道を通行禁止にし、子供から大人まで全員でフランスの景色を楽しみながらサイクリングをする。想像するだけで楽しそうだ。

We Bike

運動、会話、充電が同時に!?

ベルギーの WeWat 社が開発し、フランス国鉄 SNCF がパリ=モンパルナス駅でのテストを経て順に設置をすすめているのが We Bike という充電システムである。30 分ほどでスマートフォンやノート PC を充電でき、2~3 人での利用が可能。談笑や会議をしつつ、発電と運動もできるという優れものである。現在では主要な駅、数十箇所まで増えている。写真は、ポルドー=サン・ジャン駅。他人との関わりが希薄になった日本でもこれを導入し、スマートフォンを充電しながら会話してみるというのはいかがだろうか?



今、自転車があツいのは フランスだけじゃない!!!

弘前でも盛り上がってマス!サイクリングあれこれ

青森県サイクル・ツーリズム推進協議会

県内でサイクル・ツーリズム(自転車でのんびり楽しむ周遊、滞在型観光)を活性化するため環境整備や様々な情報発信を行っています。ホームページでは、ツーリストや地域の方からも様々なおすすめスポットやコース周辺の情報の投稿が寄せられているので必見!

サイクルネットHIROSAKI

弘前観光コンベンション協会が行っている、貸し自転車サービス。子供向けの自転車や電動自転車もあります!

籠にリングがついた、可愛い自転車に乗って弘前市内の観光はいかが?サイクルマップを手に、様々な“弘前”を巡ってみよう!

大鰐線サイクルトレイン

*写真1

自転車でちょっと遠出をしたいという時はサイクルトレイン!

毎年11月の終わりごろまで弘南鉄道の中央弘前駅から大鰐駅まで自転車と一緒に電車に乗れちゃいます!3台以上のグループ利用は駅に要確認!

利用できる時間帯も決まっているので、時刻表もチェック!

まちなか自転車マップ

*写真2

市役所で作られた、自転車で弘前を楽しむためのマップ。ポケットサイズに折りたためるので持ち運びに便利!弘前らしいコース、観光スポット、安全に走行するためのポイントなど役立つ情報が満載!

今年度のマップは発行部数に限りがあるのでお早めに!

ウェブ上でもマップのダウンロードができます。

スポネット弘前

弘前のスポーツ文化を発信しているNPO法人。市内・市外のおすすめサイクリングコースのマップも発行していて、ウェブ上でもダウンロードができます。「Run&Bike 弘前」で検索!



地域のフランス情報はこちらから

弘前大学フランス語ホームページ Place de la francophonie「フランコフォニー広場」

フランス語・フランス語圏文化を通じた交流の場。学外者も自由参加できるオフ会活動Cercle Francophoneや、イベントの情報発信なども行っています。活動報告やイベント告知が掲載されているFacebookやTwitterも見てください!



弘前大学特定プロジェクト教育研究センター

地域未来創生センター

Innovative Regional Research Center

編集:人文学部3年 小田切 雅熙/折出 航/福井 辰男

プロジェクトの正式名称:複言語・複文化教育プロジェクト(フランス語モデル)

平成27年度地域未来創生プロジェクト